



「まちに気づく まちを築く とかち清水 ～想いをミライに繋ぐまち～」

# SHIMIZU

特集

## シルバー人材センター

— 地域で働き、社会を支える —



ゆうえる 社会教育関係団体で活動してみませんか？

写真 公益社団法人 清水町シルバー人材センター 会員のみなさん

## シルバー人材センターの始まり

昭和50年（1975年）の日本は、少しずつ高齢化が進み、定年などで現役を引退した後も、働き続けたいと希望する高齢者が増えていました。これを背景に、シルバー人材センターの前身「高齢者事業団」が東京都に設立。その後、国の補助金制度が始まり、名称が「シルバー人材センター」と統一され、全国各地に広がっていきました。昭和61年（1986年）には、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」が公布され、同センターは法的に認められました。

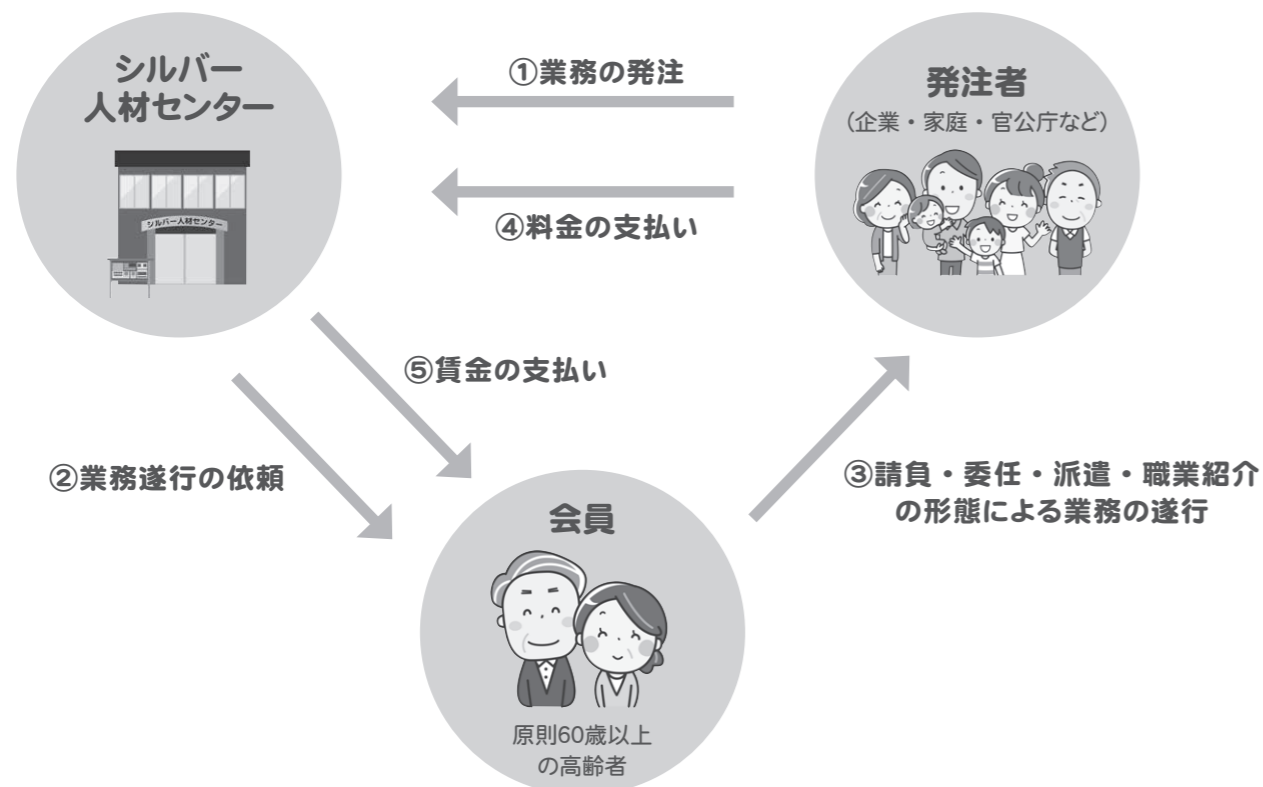
令和4年3月末時点では、全国の8割以上の市区町村に設置され、1,307団体（法人数）が存在します。会員数は全国に約69万人、平均年齢は74.1歳となっています。

## シルバー人材センターの目的

- ①長年培った知識・経験・技能を生かして就業することにより
- ②豊かで積極的な高齢期の生活と社会参加による生きがいを充実するとともに
- ③地域に活力を生み出し、地域社会の福祉と活性化に寄与すること

## シルバー人材センターの仕組み

シルバー人材センターは、企業・家庭・官公庁などから業務を受注し、受注した業務を請負・委任・派遣・職業紹介の形態により、就業を希望する高齢者（会員）に、働く場として提供します。



特集

# シルバー人材センター

—— 地域で働き、社会を支える ——



みなさんご存知のように、現在の日本は、少子高齢化が進んでいます。清水町の人口のうち、65歳以上の高齢者人口は約4割（令和2年国勢調査）です。

こうした社会の中で、『定年後も働きたい』と考えるシニア層の就業率を高めることは重要です。今回は、定年後の働き方の一つである『シルバー人材センター』にスポットを当てました。

今までの経験やスキルを生かし、シニア層が働き続けられる社会づくりを担う、シルバー人材センター。その目的や仕組みを、お伝えしていきます。



## 将来、自分はどうしたい？

60歳、70歳になった時、自分は何をしているだろうか？

「まだまだ、働いている気がする」「趣味の時間を思い切り楽しみたい」

「地域のボランティア活動をしたい」「家族とのんびり過ごせたら良いな」

自分の人生に何を求めるかによって、様々な選択肢があります。その中で、『自分に合う働き方』を選んだ、清水町シルバー人材センターの会員のみなさん。

会員のみなさんと、同センター理事長、事務局長から話を聞くと、そこには働く理由や、生き生きとした姿がありました。

## 日々の仕事 が刺激 になっている

三芦 拓生さん (68)



前職では、ソフトウェア開発の仕事をしていました。今は大学で非常勤講師を務めていて、夏場は時間に余裕があるので、パソコン関係の仕事ができれば良いと思って登録しました。

私は町ハーモニープラザの施設管理をしています。勤務時間は、平日は17時～22時、土日は9時～22時までで、3名の会員が交代で勤務します。2時間に1度、施設内を巡回し、不審な点がないかを確認していきます。

施設内の商工会を目にしたことで、以前、簿記関連のソフトを作ったことを思い出し、簿記検定に挑戦したい気持ちが湧きました。日々の仕事が、刺激になっています。趣味だけだと人間関係が固定されてくるので、これからも幅広く色々なことをやりたいですね。

## 70代まで 働く とは思わなかった

加藤 房子さん (74)



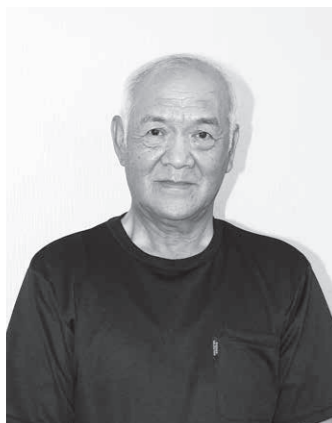
シルバー人材センターは、休みたい時は休めて、短時間の仕事もあるので登録しました。最初に行った畑の枝拾いは大変な作業で、自分より年上の方が頑張っていてびっくりしました。

その後は、町プールで施設全般の清掃を6～7年ほど続けています。時間通りに出勤しなきゃと思うと、規則正しく過ごせますし、働くことが健康につながると実感します。たまには、のんびりしたいかなとは思いますがね。

今の年齢で、必要とされていると思うと、体が動くうちは動こうと思っています。40～50代の頃は、70代まで働くとは思わなかったですが、趣味や仕事、お友達に恵まれて、楽しく過ごせています。病気などの心配はあるけど、元気で動けるのは1番幸せなことだと思います。

## 今が 一番、 楽しい かもしれない

中村 誠夫さん (76)



新聞の会員募集チラシを見たのが、登録したきっかけです。退職前の仕事は忙しくて、辞めたら一生仕事はしないと思っていましたが、徐々に時間を持て余すようになって。何か少しでも役に立てたらなと思いました。

私は草刈りの仕事をしています。1日に数か所周り、8時から16時頃まで作業します。多い時は8～9名のグループで作業していて、仲間たちとは、仲が良いので楽しいですよ。お客様から感謝されることが励みになっています。声をかけてもらおうと頑張れますね。

今が1番楽しいかもしれません。時間に余裕が持てて、お金ももらえて、健康にもなる。周りから「お腹が引っ込んだね～」なんて言われるし、筋肉はつくし、草刈りのおかげかな。

なにを頼めるの？

どうやって会員になるの？

お仕事の頼み方は？

清水町シルバー人材センターでは、実際にどのような仕事を受注しているのでしょうか。ここでは、利用方法や依頼できる仕事内容をご紹介します。

また、同センターで働くには、会員登録をする必要があります。もっと詳しく話を聞きたい方、会員になりたい方は、同センターまでお気軽にお電話ください。地域を支えるために、一緒に働いてみませんか？

## 利用したい方

### step 1 仕事依頼

頼みたい仕事を、電話で、清水町シルバー人材センターへ連絡します。同センターの担当者と依頼内容や金額などを確認し、受注に進みます。

### step 2 業務実施

仕事内容や要望、職場環境などを踏まえて、業務を行う会員を決めます。会員が指定された作業場所へ行き、依頼内容に沿った業務を行います。

### step 3 お支払い

業務が完了したら、同センターから請求書が届きます。記載されている金額を、金融機関で振り込んで支払います。

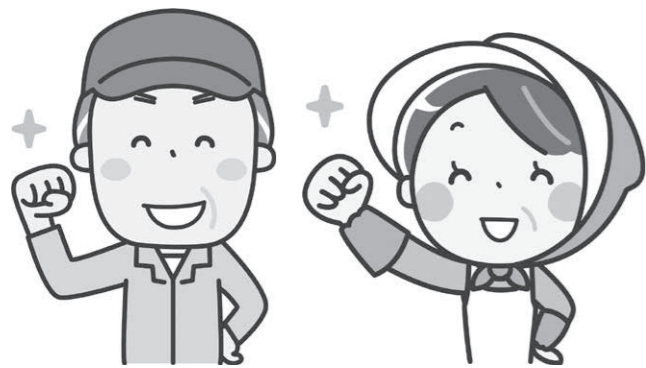


筆耕・宛名書き・建物や施設管理・農作業・施設清掃・草刈り・草取りを引き受けられます。



## 会員になりたい方

# 会員募集中!!



仲間や生きがいを見つけてみませんか？

あなたの経験を生かして、働きませんか？

## まずは、お電話ください!!

- 清水町内にお住いの、おおむね60歳以上で、働く意欲のある方は、どなたでも登録できます。
- 施設清掃・施設管理など、様々な職種を募集しています。
- 特に、除雪作業・農作業・草刈り・剪定などの屋外作業を希望する方を募集しています。
- 夏季のみ・冬季のみの短期間の就業も可能です。

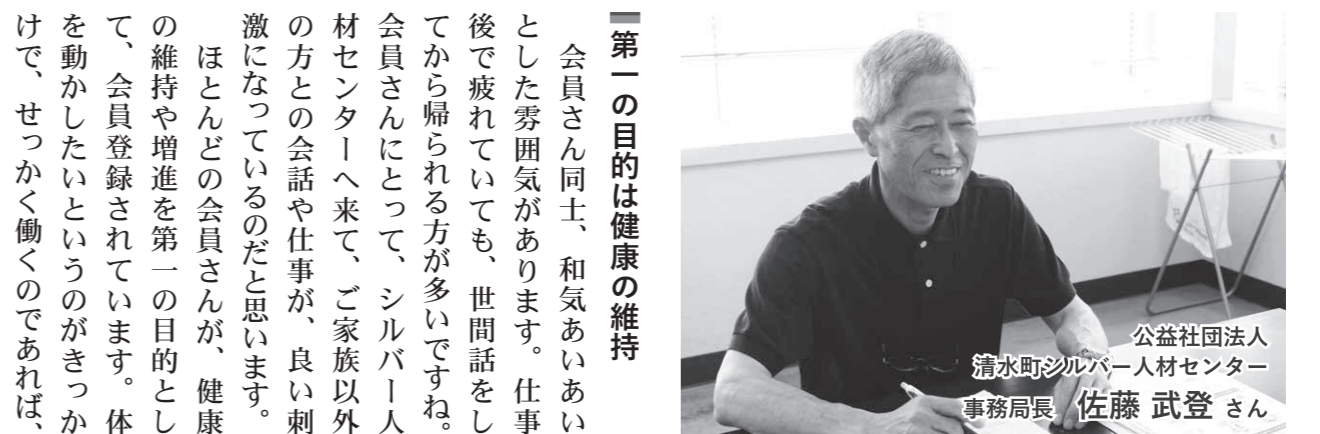
《会員登録や仕事依頼の連絡はこちらへ》  
公益社団法人 清水町シルバー人材センター  
TEL：0156-62-6058 FAX：0156-62-6059



公益社団法人  
清水町シルバー人材センター  
理事長 太田 昭夫 さん

「働くことが、元気につながる」  
清水町シルバー人材センターは、昭和58年4月に設立しました。設立の前年、町内官公庁や会社などの退職者に対し、高齢者事業団を設立した場合の参加意向を調査したところ、参加を希望する回答が、全体の62.7%ありました。その結果を受けての設立となり、会員数65名でスタートしました。

「生涯現役で社会参加」  
私が会員になったのは、13年前。筆耕の依頼があり、趣味である書道の勉強にもなると感じて登録しました。趣味の書道は、もう40年近く続けていますね。今は、主に町役場で施設管理の仕事をしていて、月に10日程度働いています。4名体制で、平日は17時半〜22時まで勤務します。依頼があれば、お通夜や告別式の供花紙を書く機会もありますよ。



公益社団法人  
清水町シルバー人材センター  
事務局長 佐藤 武登 さん

「第一の目的は健康の維持」  
会員さん同士、和気あいあいとした雰囲気があります。仕事後で疲れていても、世間話をしてから帰られる方が多いですね。会員さんにとって、シルバー人材センターへ来て、ご家族以外の方との会話や仕事、良い刺激になっているのだと思います。



## 秋～心を染める 色の中で 感性みずみずしく 文化・スポーツで躍動する 子どもたちを支援・応援

子どもたちは、学校での学習活動だけでなく、少年団活動や部活動においても技術を高め、体を鍛え活躍しています。スポーツでは、清水陸上少年団6年生 安藤愛菜さんが全道大会砲丸投げ3位、清水中学校陸上部3年生 脇坂理希さんが全道大会砲丸投げ8位に入賞しました。

また、清水中学校野球部（新得・鹿追との合同チーム）が十勝大会で優勝し、全道大会に出場。

文化では、清水ジュニアプラスバンドが金賞を受賞し、全道コンクール大会に出場など、子ども一人ひとりの努力はもとより、監督やコーチの指導、さらには各ご家庭のサポートが良い結果につながっています。

教育委員会も子どもたちの活動を支援していきますので、町民の皆様からもたくさんの応援をしていただきますようお願いいたします。

## 社会教育関係団体紹介

### ●樋口ピアノスタジオ● (旧：樋口音楽教室)



初めてピアノに触れる方、もう一度ピアノを学びたい方、お休みの間だけ学びたい方、1曲だけマスターしたい方。樋口ピアノスタジオではさまざまなご要望に対応してレッスンをいたします。ご見学・無料体験レッスンも受け付けいたします。ZOOMレッスンも対応いたします。

- 活動日時 火～金曜日 時間帯は要相談
- 活動場所 講師自宅（南3条4丁目）
- お問い合わせ先 講師 樋口 麗子（TEL 62-6842）  
札幌大谷短期大学音楽科卒業

## 図書館だより

毎月19日はしみず読書の日

### 「第9図書コーナー」を高校生がPR

清水高校2年生の皆さんが、職場体験でベートーヴェンについての図書を集めた「第9図書コーナー」をPRする看板を作ってくれました。

文字の大きさや配色を生徒同士で話し合いながら、一生懸命作り上げた看板は、1年間掲示する予定です。

高校生の力作を目印に、ぜひコーナーまでお越しください。



### 熱闘!清水町図書館スタジアム



夏休みの図書館に、野球スタジアムが登場! 子どもたちに読書を楽しんでもらおうと、本を借りたら参加できる「野球ゲーム」を行いました。

ヒットかホームランかによって、景品の豪華さが変わるので、参加してくれた子どもたちはとても真剣で、甲子園のように熱い戦いがそこにはありました。

### 新着図書からピックアップ

- 『あるじなしとて』 天津佳之著
- 『風を彩る怪物』 逸木裕著
- 『残された人が編む物語』 桂望実著
- 『鷹の系譜』 堂場瞬一著
- 『オリーブの実るころ』 中島京子著



おすすめの本・新着図書の情報などは、図書館ホームページからもご覧になれます! ホームページは左記のQRコードまたは、「十勝 清水 図書館」で検索してみてください!

## 社会教育関係団体で活動してみませんか?

清水町では、書道やフラダンス、子育てに関するお話し会など、全40団体が様々な活動をしています。興味のある団体がありましたら、この機会に加入してみませんか?

各団体へのお問い合わせは、右記のQRコードから、町のホームページをご覧ください。



団体名	活動内容
スイーツクラブ	お菓子づくり・料理
五月会	読み聞かせ
子育てコミュニティ Komorebi	子育て中の親の応援
陶遊会	陶芸
柏サークル	習字
紙手紙ななかまどの会	紙手紙の作成
野ばらの会	生け花
華結びの会	着付け
カトリア会	刺繍
みかげ民友会	三味線
清水町篆刻サークル	篆刻
舞 sky tear	ヨサコイ
文京書道サークル	書道
清水三味線サークル	三味線
御影大正琴サークル うぐいす会	大正琴
さくらサークル	日本習字
十勝清水食育ネットワークおむすび会	食育
女性セミナー	研修・芸術鑑賞など
清水英語クラブ	英語
読書会「こぶし」	読書

団体名	活動内容
十勝清水郷土史研究会	地域学の探求
一般社団法人ネクスト清水支店	そろばん
空手スクール清水御影	空手
やよいの会	ソフトエアロビクス
高須クリニック 御影グレッズ	アイスホッケー
清水町シルバー健康友の会	パークゴルフ
清水町ピンポン同好会	卓球
フラハイビスカス御影	フラダンス
清水フォークダンス協会	フォークダンス
しみず卓球友の会	卓球
清水ジュニアバドミントンクラブ	バドミントン
御影ヨガサークル	ヨガ
婦人テニスサークル	テニス
御影フォークダンスクラブ	フォークダンス
健康体操サークル	健康体操
御影パークゴルフ同好会	パークゴルフ
レクダンス清水	ダンス
御影太極拳同好会	太極拳
CS羽帯	フットサル
清水卓球スポーツ少年団	卓球

# 『保護司ってご存じですか？』

## 保護司とは

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを支える民間のボランティアのことをいいます。

犯罪や非行をした人も、何らかの処分を受けた後は、地域社会に戻り、社会の一員として生きていくことになりま

す。保護司は、民間人としての柔軟性と地域の実情に通じているという特性を活かし、保護観察官と協働して保護観察にあたるほか、彼らが刑事施設や少年院から社会復帰を果たしたとき、スムーズに社会生活を営めるように、釈放後の住居や就職先などの帰住環境の調整や相談を行っています。

## 更生保護とは

このような保護司は、全国に約4万6千人おり、清水町では8人の保護司が活動しています。

犯してしまった罪を償って、社会に戻ってくる人たちが地域社会の様々な人によって支えられ、地域に居場所を作り、再犯や非行に走ることを防ぎ、取り組みを更生保護といえます。保護司もこの取り組みを支える一員です。

## 社会を明るくする運動とは

更生保護について理解を深め、全ての人がそれぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を作るための全国的な運動です。

清水町の保護司会では、地域の学校を回って、社会を明るくする運動のポケットティッシュの配布や啓発用品を寄贈するなどの活動を行っています。

## それぞれができることを

更生保護において、保護司の役割は重要なものですが、地域の一人ひとりの理解もとても大切です。犯罪や非行から立ち直ろうとしている人たちに偏見を持たず、地域で温かく見守ることで、明るい地域社会を作っていきます。

## お問い合わせ先

保健福祉課福祉係

☎69・2222

## 清水歴史探訪

### 『北海道移住案内③』

宇勝清水郷土史研究会 監修

【24】

十勝は、明治30年頃からの開拓者により、順調に耕地が増えていきました。しかし、順調な右肩上がりばかりではありませんでした。細かく過去のデータを見てみると、明治33年、大正2年、昭和6〜7年、昭和9〜10年が、特に大凶作の年となつています。

十勝で米の作付けが初めて記録されたのは、明治32年でした。それが、大正期に入り一気に200ha（ヘクタール）を超え、昭和4年には、十勝全体で1万haを超えるまでになりました。

しかし、昭和45年に、国が減反政策を打ち出すと、徐々に作付けが減り、現在は十勝全体で10haほどしか水田は残っていません。子供の頃の力エルの鳴き声や、トンボの姿が懐かしく思い出されます。てん菜は、帯広市と清水町で製糖工場が操業を開始したのを受け、

一気に作付け面積を増やしました。今でも輪作体系において、欠かすことのできない作物となつています。

低湿害による凶作のリスクを分散させるため、畜産が推奨された明治末期から、牧草の栽培が増え始めました。現在は、十勝全域で10万haを超える耕作面積を誇っています。

このように、開拓時代から現在までの十勝の基幹産業である農業の発展を、面積や反収のデータで見てきました。農産物の価格は、日本や世界情勢に大きく左右され、増減を繰り返して今があります。

目を覆いたくなるほど、低い数字が並んでいるのは、第二次世界大戦の戦時下です。この数字からも、今、世界で起きている戦争のいち早い収束を願うばかりです。



大正9〜10年頃のてん菜畑

・文責 宮崎 幸夫  
（十勝清水郷土史研究会）

※参照データ：日高・十勝・釧路農作物累年統計、北海道農業統計表、十勝農業のあらまし

## 町民の声ポスト

広報レターで寄せられた意見や要望等の紹介です。

### 要望

手押し信号機を設置して欲しい。

コメリやツルハドラッグに行くために、横断歩道ではなく、国道を渡っている人がいます。危険なので、手押し信号機を設置した方が良いと思います。（40代男性）

### 回答

押しボタン式（手押し）信号機や横断歩道につきましては、横断歩道の状況や交通量等から危険性等を釧路方面公安委員会が総合的に判断をして、設置されるものとなっております。

今回ご意見ご指摘をいただきました箇所につきましては、町といたしましても危険性が高く、押しボタン式（手押し）信号機および横断歩道の設置が望ましいものと考えますので、新得警察署を経由して、釧路方面公安委員会へ要望書を提出いたします。なお、設置されるか否かは、警察による現地確認に基づき、釧路方面公安委員会の審査によって決定されることとなり、警察からの回答には1〜2カ月程度の時間を要するものとなっております。

（町民生活課）

## 町民の声ポスト

みなさんの声をお聴かせください。

町政について思うこと、改善して欲しいことなど、住みよいまちづくりのために、みなさんの声をお寄せください。広報レターは、町役場や御影支所などに置いてあります。ぜひ、お気軽にご活用ください。

【問い合わせ】  
企画課広報広聴係（☎0156-62-2114）

## 健康最前線

### 脳ドックを受けてみたい人募集しています！

遠藤 加奈 保健師

ご存じでしょうか？清水町では令和元年から、脳ドックにかかる費用を助成（1万円）しています。

◆「脳卒中」は、ある日突然に起こります

血管にコブができる脳動脈瘤や、血管が破れる脳出血、血管が詰まる脳梗塞等、脳卒中は前触れなく起きますが、身体の中では徐々に危険な状態へと変化しています。定期的に脳の状態を確認することは、早期発見に役立ちます。

また、「認知症」の中には、脳の血流が滞ることや発症・進行していくタイプものがあります。頭部MRIまたはMRA検査で脳の萎縮状態や血管の状態を確認することは認知症リスクを調べることもなります。

◆結果がでたら

「全く異常なし」で健康なことが確認できたなら、また次の機会にも健康なことを確認しましょう。

1つでも「○○の疑いがあります」や「軽度の動脈硬化があります」等の記載があれば、気を引き締めましょう。症状がないからといって

放っておくのはNG！脳卒中を起すと、状況によっては意識障害や言語障害、麻痺等の後遺症が残ることが多いです。清水町で介護が必要な人のうち約2割は脳卒中を、また、約3割は認知症を有病しています。

◆健康への関心があるあなたへ

あなたの身体が、脳や血管の状態が、「健康」だと確認してみませんか？詳細は、健康推進係（☎67-7320）までお問い合わせ下さい。

◆助成している医療機関

- ①北斗病院
- 対象：前年度に町の補助を受けていない40歳以上の町民
- 令和4年10月〜3月の期間でまだ空きがあります！基本健診（血液検査や尿検査等）も一緒に受けられます。
- ②厚生病院（人間ドックのオプション）
- 対象：40歳以上の清水町国保加入者または後期高齢者保険の被保険者で、町が実施する人間ドックの受診者
- 基本健診とがん検診も同日に受診できます。

人口 9,070人 (-23)  
男 4,483人 (-3) 女 4,587人 (-20)  
世帯数 4,688 (-13)  
令和4年8月末現在( )は前月比

9/16	金	■移動献血車による献血 (保セ 13時30分)	10/1	土	■エントランスホール展「介護事務所『さくらさくら』作品展」～30日まで (図書 10時)
17	土	■おはなし会 (老人福祉センター 13時30分)	2	日	
18	日		3	月	
19	月		4	火	
20	火		5	水	
21	水		6	木	■ロビーコンサート「アンサンブルグループ奏楽」(文セ 19時) ■御影公民館講座「絵手紙教室」(御支 19時)
22	木		7	金	■町民と町長のふれあいトーク (役場 9時) ■スマホ講習会第1回 (老人福祉センター 15時)
23	金	■懐かしの清水町展 2022～10月2日まで (文セ 9時)	8	土	■十勝清水トラックマーケット (セイコーマート御影店横 9時) ■牛乳・乳製品料理講習会 (文セ 10時・13時) ■しみずっこ地域食堂 (老人福祉センター 11時)
24	土	■十勝清水トラックマーケット (セイコーマート御影店横 9時) ■おはなし会 (図書 11時30分)	9	日	
25	日		10	月	
26	月		11	火	■スマホ講習会第2回 (老人福祉センター 15時)
27	火		12	水	
28	水		13	木	
29	木		14	金	
30	金		15	土	■おはなし会 (老人福祉センター 13時30分)

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事が中止・延期になる可能性がありますので、ご了承ください。

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館  
ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター  
消防=清水消防署 し保=しみず保育所 御こ=御影こども園 幼稚=幼稚園  
清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校



チームメイトの一枚

**町長の日記**  
パークゴルフ大会に参加  
9月3日、爽やかな秋晴れのもと、第27回清水町内会連絡協議会主催のパークゴルフ大会に参加し、楽しい時間を過ごしました。  
私は今年2度目のPGであつたが、同組でプレーした大ベテランの2人にリードされながら、全36ホールをようやく回り終えた。  
成績は？そうです122打。まあまあブービー賞でした(汗)この大会4回目の参加となりましたが、いずれもブービー？だったような気がします。  
「次こそは！」と毎回思うのですが、思うように上達しないものだ。  
私より年上の方々がばかりですが、皆さん元気はつらつとプレーしていました。とてもよい汗をかいた一日となりました。

あとがき

■清水町シルバー人材センターのみなさんは、とても生き生きと働かれていて、その姿に、元気をもらった取材となりました。自分が70歳になった時、みなさんのように、元気に過ごせていたらうれしいです。若い世代の方にも、来たる将来に向けて、自分は定年後どうするのかを考えるきっかけになったら...と思います。まだまだ未熟な取材ですが、ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。(谷口)

■9月に入り、気温も下がりが、過ごしやす季節「秋」が近づいているなと感じています。秋と言えば「食欲の秋」になりがちですが、無性に「何か美味しいもの」や「甘いもの」を食べたくなってしまう。「読書の秋」などの食べる以外の「秋」にできたなら、と思いつつ、今年の秋も食べる方向にしか行かないだろうと、半分以上あきらめている中澤でした(笑) (中澤)

インタビュー

誕生

堀口 結花ちゃん (健太 / 美花)  
中村 樹ちゃん (幹生 / 芹菜)

結婚

小田桐 幸平さん♡福田 美穂さん  
白川 友基さん♡福島 妙さん

哀悼

鈴木 貴美子さん 御影鉄南  
瀬野 圭子さん さくら野  
上野 ヨシ子さん 西文化  
佐藤 ツヤ子さん 中羽帯  
松本 キミコさん 昭和  
山口 武一さん 交睦

つくってみよう  
マイナンバーカード!

郵送やスマートフォンなどで、申請ができます。相談は下記までご連絡ください。  
■マイナンバー総合フリーダイヤル  
0120-95-0178  
平日 9時30分～20時  
土日祝 9時30分～17時30分  
■役場町民生活課  
0156-62-1151  
平日 (閉庁日を除く)  
8時45分～17時30分

広報モニタ  
こんにちは

★普段身近に存在している、てんさい糖のことを、こんなに無知だったとは思わなかった。人口甘味料を摂取しがちな自分たちの食生活を恥じた。  
★社会科見学のようで、勉強になった。先月の特集に続き、清水町をさらに知ることができた。  
★砂糖の需要低下に伴い、てん菜が減産することになれば、関係する町内への影響は、大変深刻なものとなりそう。消費者として何か出来ることはないかと考えるきっかけになった。  
★町内の大規模工場であるホクレン清水製糖工場の記事が大変良かった。私も購入しているし、他の町でも見かけるとうれしくなる。  
★清水高校生のインターンシップでの職業体験は、将来を見据えた貴重な体験になったと思う。彼らの明るい未来を信じる。

★キャッシュレス決済を利用していないとマイナポイントをもらえないのか。  
★あきらちゃん&ジャンプくんがきた!!の写真について、出演者や子供たちのズーム写真があると、より一層鑑賞会の様子が伝わる。  
★清水歴史探訪では、果てしないカシワの木の巨大な根っこを、大変な労力で片付けた姿を想像した。先人たちの十勝平野開拓への大変な苦勞の上に今があると、改めて小麦収穫量からも理解出来た。  
★雨の多い夏、本州の猛暑、亡き夫を思い慕う、戦火に思いをはせる等の短歌作品に、今夏の様子が凝縮されていると感慨を深くした。  
★十勝清水ライオンズクラブは、創立40周年での活動で、日々交通安全指導などにご尽力いただき、ありがたい。町民の笑顔のために、長きに渡り活動されていること、素晴らしい取り組みに感謝。  
★社会貢献活動が、毎号紹介されている。立派な活動と思いつつも、毎号ではなく、年間でもまとめて紹介する方法もあるかと思つた。

ちようみん作品館

短歌の寄稿がありましたので、紹介します。  
【玲瓏短歌会】  
五十余年世話になりにし免許証  
涙で返納せり八十路の半ば 坂下洋子  
石楠花はうす紅色に頬染めて  
ひねもす峰に蜜与えおり 田村徳子  
開町の百二十年史書き始む  
七十年前の思いに馳せる 宗像三郎  
雨あがり午後の日差し当たること  
知っているよに蟬の鳴きだす 大石 尚  
本州に雪の如降る雪なるは  
異状気象の水無月に遭う 藤原静子  
埼玉とふテレビに映るあじさいの  
花びら熱射に傷みのはげし 森山ヤヨイ  
今年またドクダミは白き花つけて  
細き白い根どこまでも這う 村谷三恵  
週毎に足腰の鍛えと卓球に  
ダブルス戦の勝負もたのし 安済哲子  
一つずつ覚えし事柄ひとつずつ  
忘れてゆくのか八十の壁 橋本佳代子

# じょうほう かわらばん



8/1

図書館エントランスホール展で、「中村富志男風景画展」が開催されました。



8/2

核の惨劇を訴え、非核と平和を願う「非核・平和ポスター展」が役場庁舎で開催されました。



8/6

十勝清水トラックマーケットが、セイコーマート御影店横で開催されました。



8/13

清水公園キャンプ場がオープンし、訪れた人たちは街中でのキャンプを楽しみました。



8/18

(株)山下観光が運営する十勝亭が、町内保育施設2か所に、トウモロコシ95本を寄贈しました。



8/23

梶山農場が、町内保育施設3か所に、トウモロコシ289名分を寄贈しました。



8/25

川田工業(株)へ、社会貢献活動(みかげこども園の施設整備)への感謝状を贈呈しました。

## 地域住民の安全確保のために――

8月3日、令和4年度消防用水搬送訓練が、清水消防署で実施されました。今回の訓練は、大規模な火災が発生し、消防用水の確保に支障が生じた状態を想定。協定に基づき、水の入ったコンクリートミキサー車から簡易水槽へ給水。その水を使って消防ポンプ車から放水します。水を溢れさせず、適切な給水量を保持するため、ミキサー車で水量を調節する職員と、消防団員とが積極的に言葉を交わしていました。



## 戦後77年、戦没者追悼と平和を祈念

8月17日、令和4年度清水町戦没者追悼式が町ハーモニープラザで開催。参加者は黙とうと献花を行い、戦争で亡くなった方々の安息と、平和を祈りました。町遺族会長の長尾克幸さんは「悲惨な大戦により亡くなられた355名の方々へ向け、厳粛かつ盛大に追悼でき、心より感謝している。終戦から77年がたち、遺族の高齢化に寂しさを感じるが、今後も遺族間の親睦をはかりたい」と述べました。



## 21人の力を合わせて初の全道へ!!

8月18日、清水ジュニアアンプスバンドの団員21名が、町教育長を訪れ、北海道吹奏楽コンクール出場への決意表明を行いました。同ブラスバンドは、7月に開催された帯広地区吹奏楽コンクールで、小学生の部の帯広地区代表に選ばれました。創設以来、初めての北海道コンクール出場となります。訪れた子どもたちは、笑顔が多く、コンクールでの演奏を楽しみにしている気持ちや、表情に表れていました。



## 地域社会への奉仕活動 しみずっこ地域食堂を支援

8月23日、十勝清水ライオンズクラブが、町社会福祉協議会が実施している「しみずっこ地域食堂」へ支援金13万6千円を寄付しました。支援金は、ライオンズクラブ国際財団の地区シェアリング交付金を活用しています。町社会福祉協議会長の村瀬悟さんは「地域の誰もが利用できる食堂として、今後も長く続けたい取り組みであるため、今回の支援を有効に活用したい」と話していました。



# 第42回 清流まつり

8月6日に、「第42回清流まつり」が町内で開催されました。例年より規模や時間を縮小し、飲食スペースの全席スタンディング化など、新型コロナウイルス感染拡大防止対策がとられました。また、駅前商店を回ってのスタンプラリーを実施。飲食物の他、ヨーヨー釣りなどのイベントも準備されていて、訪れた子どもたちは、楽しそうに遊んでいました。清流まつり実行委員長の渋谷勲さんは「コロナ禍による中止や延期が続き、3年ぶりの開催となった。想像以上の来場数があり、開催して良かった」と、喜びにあふれた表情で話してくれました。







# ～交通事故の撲滅を願い～ ひまわりの絆プロジェクト



「ひまわりの絆プロジェクト」は、平成23年京都府内で交通事故によって亡くなった当時4歳の男の子が生前に育てていた「ひまわり」から採取した種を使い、全国各地で「ひまわり」を咲かせることで、男の子が生きた証を残しながら、交通事故の危険さと命の大切さを訴える運動です。  
また、町内では、交通事故防止や環境美化の思いを込め、大野春雄さんと鯛治哲雄さんが清水羽帯間道路（旧国道）沿いにひまわり畑をつくり、通行する多くの人の目を楽しませました。  
今回は、新得警察署 長澤学副署長や、有志による取り組みを行った大野春雄さんと鯛治哲雄さんから、この運動におけるそれぞれの思いを話していただきました。



新得警察署 副署長  
長澤 学さん

この「ひまわりの絆プロジェクト」は、交通事故撲滅に対する強い思いから開始されたものです。交通事故は被害にあった方だけではなく、その家族や友人も悲しい思いをします。我々としては、交通事故件数をゼロにすることを最終的な目標としています。1件でも件数を減らし、そういった思いをする方々も減らしたいと考えています。  
今回このプロジェクトに賛同し、ここまで大きな規模で取り組んでいただいたことや町観光協会及び町にご協力いただいたことに対し感謝申し上げます。  
現在、北海道での交通事故による死亡事故件数は減少傾向にあります。が、今後も更なる件数減少を目指し、一層尽力していきたいと思っております。



鯛治さん 大野さん

大野さんは「2回目となる今回も、町や町観光協会など多くの方からご協力をいただき、ひまわり畑が完成しました。町の景観を少しでも良くしたいという思いもありますが、ひまわりを見てくれた多くの人たちが『ひまわりの絆プロジェクト』のような運動に今後参加してもらえたら嬉しいです。」と話していました。  
鯛治さんは「今回は7万本のひまわりを育て、この畑をつくりました。植え方を工夫し、『キズナ』と『トモフレ』という文字になるような配置になっています。この国道274号線は、高速道路に接続する道路です。交通量の多いこの道だからこそ、交通事故防止を啓発する運動をする必要があると思っております。」と交通事故撲滅に対する思いを語ってくれました。



9月2日には、町観光協会から町の景観整備に尽力されたとして感謝状を贈呈しました。感謝状を受け取ったお二人は「ひまわりを見てくれた人たちに喜んでもらえるのが嬉しい。この活動で少しでも交通事故防止につながればと思います。」と話していました。